

報告第25号

令和2年度一般財団法人宇治廃棄物処理公社経営評価の報告  
について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条  
第1項の規定に基づき、令和2年度一般財団法人宇治廃棄物処理公  
社経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和3年9月16日提出

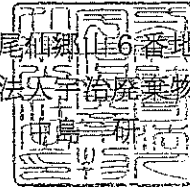
宇治市長 松村 淳子



3財字廃第61号  
令和3年7月30日

宇治市長 松村 淳子 様

所在地 宇治市池尾和郷116番地2  
法人名 一般財団法人宇治廃棄物処理公社  
代表者名 理事長



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	一般財団法人宇治廃棄物処理公社	設立年月日	昭和52年7月14日
一般財団法人への移行年月日			平成25年4月1日
基本財産	10,000千円 (移行前 10,000千円 うち市出えん・出資額 10,000千円 出資比率 100%)		
設立目的	宇治市の清掃行政に対応し、市民生活や地域の社会経済活動から排出される廃棄物を安全・適正に処理し、地域社会における生活環境の保全及び公衆衛生の向上に関する事業を行い、健康で豊かな市民生活の確保と社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		平成30年度		令和元年度		令和2年度				
		市職員	市OB	市職員	市OB	市職員	市OB			
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	
	非常勤	14	4	0	14	4	0	14	4	0
職員	管理職	1	0	0	1	1	0	1	1	0
	一般職	4	1	0	4	0	1	5	0	1
	計	5	1	0	5	1	1	6	1	1

\*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
一般廃棄物処理・処分事業	市内から排出される不燃ごみ・粗大ごみなどの一般廃棄物の埋立処理
産業廃棄物処理・処分事業	市内から排出される産業廃棄物（燃え殻・廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類等）の埋立処理
浸出水処理施設処理事業	埋立処分地の浸出水処理施設における凝集沈殿装置・砂濾過塔・高速濾過塔・活性炭塔への塩化第二鉄・高分子凝集剤・活性炭等の注入・交換等による適正な浸出水の処理

#### 4. 財務状況

##### 1) 正味財産の状況

(単位：円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収 益	99,071,159	141,052,498	140,529,996
収益事業収益等	90,690,329	133,833,428	130,617,156
市 支 出 金	8,380,830	7,219,070	9,912,840
人 件 費	0	0	0
事 業 費	8,380,830	7,219,070	9,912,840
費 用	86,523,035	111,317,869	146,550,751
人 件 費	31,109,670	30,077,905	26,741,534
事 業 費	55,413,365	81,239,964	119,809,217
当期経常増減額	12,548,124	29,734,629	△6,020,755
当期正味財産増減額	12,548,124	45,123,296	△5,196,599
期末正味財産合計額	239,919,734	285,043,030	279,846,431

##### 2) 貸借対照表

(単位：円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産合計	294,967,998	333,759,898	332,059,361
流動資産	59,527,992	118,794,120	119,081,826
固定資産	235,440,006	214,965,778	212,977,535
負債合計	55,048,264	48,716,868	52,212,930
流動負債	7,195,464	11,876,393	14,570,930
固定負債	47,852,800	36,840,475	37,642,000
正味財産合計	239,919,734	285,043,030	279,846,431
基本財産	10,000,000	10,000,000	10,000,000
その他正味財産	229,919,734	275,043,030	269,846,431

##### 3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金	8,380,830	7,219,070	9,912,840
委託料	0	0	0
その他(分担金等)	0	0	0
計	8,380,830	7,219,070	9,912,840
貸付金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	2,531,804	0	0

#### 4) 主要経営指標

指標	算式	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費比率	人件費計÷費用計	36.0%	27.0%	18.2%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	81.3%	85.4%	84.3%
流動比率	流動資産÷流動負債	827.3%	1000.3%	817.3%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0.9%	—	—
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	11.2%	—	—

#### 5. 経営評価 (法人自己評価)

視点	評価	コメント
目的適合性	C	<p>社会経済の変化と生活様式の多様化により、家庭から排出される一般廃棄物、及び事業活動に伴い排出される産業廃棄物について、種類も複雑化、多様化しています。当社は、これらに対応して適切な廃棄物の受入と処理を基本に事業を実施しています。</p> <p>コンプライアンスを遵守し、適切な最終処分場の運営を行うために、速やかな設備の抜本的な改修や職員体制の見直し等を実施してまいります。</p>
効率性	C	<p>京都府産業廃棄物税の徴収・申告・納税業務や非飛散性アスベスト廃棄物の搬入受入等、業務量が増加していますが、廃棄物の受入・処分業務(受付・料金徴収、処分場への搬入者の誘導・受入、処分・埋立作業)、浸出水処理施設管理業務、庶務・経理業務について、職員間で、互いに補完・協力しながら実施してきました。</p> <p>令和3年4月から、正規職員1名を増員し、さらにこれまでの1係体制から事務担当係と現場担当係の2係体制とし、職員体制の充実を図ったところ です。引き続き、コンプライアンスを遵守した最終処分場の運営を行うため、適正な職員体制を検討してまいります。</p>
組織運営健全性	D	<p>評議員会、理事会で事業計画、事業報告、予算、決算等の重要事項について、承認を受け、定款、規程等に基づき、事務局が業務を実施しています。</p> <p>外部研修、職場会議、朝礼などを実施するなかで、職員のコンプライアンス遵守に対する意識の徹底を図っています。</p> <p>また、平成30年度に発覚した横領事案を受け、令和2年度は再発防止対策として、自動釣銭機を導入しました。</p>
財務健全性	C	<p>令和2年度は、前年度に引き続き産業廃棄物の搬入量が増加しています。しかしながら産業廃棄物の搬入量はその増減が大きく、財務の健全性を保つため、引き続き廃棄物の安定的な搬入量確保と経費削減に努めます。</p> <p>また、平成30年度に発覚した横領事案の被害額についてその回収に努めます。</p>

総合評価	D	<p>第3期埋立処分場の埋立期間及び財政見通しなどについて、評議員会、理事会、事務局等で検討・見直しを行うことにより、今後とも公社経営の健全化と処分場の延命を両立させながら、廃棄物の適正な受入と処理・処分に向けた事業の展開を図ります。</p> <p>平成30年度に発覚した横領事案、さらには令和2年度に発覚した浸出水にかかる事案は、いずれもコンプライアンスに抵触する重大な事案であり、公社の組織・運営を徹底的に見直す必要があります。</p> <p>廃棄物の処理という社会的に不可欠であり、法令遵守が厳に求められることを再認識し、二度とこのようなことのないよう、不断の改革に取り組みます。</p>
------	---	---

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い